



札幌市 北海道チクレン農業協同組合連合会 『赤身牛肉キタウシリ(ホルスタイン種)をタイ、ベトナムへ』

【主な品目】

赤身牛肉キタウシリ(ホルスタイン種)

【主な輸出先国・地域】

タイ、ベトナム

【輸出に取り組んだ経緯と概要】

- ◆ 高齢化・人口減少により食肉需要の低下が想定されることから、畜産農家の経営安定及び国産食肉の生産に資するため輸出を行う。
- ◆ 赤身牛肉をブランド化し、「北海道産」「健康」等の付加価値を効果的に訴求することで、比較的低価格な他国産の赤身牛肉との差別化を図っている。
- ◆ 現地サプライヤーと協議を重ね、ニーズに合った新商品を開発した。

【取り組む際に生じた課題及び対応】

- タイやベトナムでは、牛肉の消費が拡大している上に、赤身牛肉が流通の主流となっている。そこで、「北海道産」の良質なブランド赤身牛肉「キタウシリ」を商品メニューやカット方法と合わせてプロモーションを行い、「高タンパク・低脂質・低カロリー」などの点で和牛と差別化を図っている。利便性向上を目的として部分肉だけではなく各種カット製品についても輸出を検討。
- COVID-19の影響により現地プロモーションが難しい状況であることから、積極的にオンライン商談会に参加。現地のサプライヤー等との関係性強化に取り組んだ。



キタウシリのサーロイン

【今後の課題・展望】

- アメリカ・豪州産の牛肉との価格ギャップを埋めるため、高品質な肉質を確保し、安定的な生産体制の強化を進める。
- 現在、グローバル産地づくり推進事業により、輸出に取り組んでいる国以外にニーズ調査・輸出の検討を行っており、台湾やシンガポールなどの施設認定取得も検討中。



キタウシリの生産者

【活用した支援・施策】 令和元年度GFPグローバル産地づくり推進事業

【ウェブサイト】 <http://www.chikuren.or.jp/>

【連絡先】 担当者名: 大口晋也